

JR連合結成30年を
次代への起点に据え
JR産業の持続的成長と
組合員・家族の幸せを実現しよう!
http://www.jr-rengo.jp



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848
FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849
1部20円 (但し組合費に含む)
●発行者/荻山市朗 ●編集者/相良夏樹
facebook
JR連合
twitter
JR連合

JR北労組・貨物鉄産労に 新たな仲間が加入

～なんでもご相談ください～

J R北労組自動車支部では3月、貨物鉄産労東海地区本部では4月、J R総連(J R北海道労組・J R貨物労組)を脱退した新たな仲間がJ R連合の輪に加わった。昨夏のそれぞれの定期大会以降、J R北労組では3人目、貨物鉄産労では5人目の加入となる。新入社員はもとより、強引・排他的な労働組合の運動に不安・不満を持つ良識的な皆さん、SNS等も活用しJ R連合・J R北労組・貨物鉄産労になんでも気兼ねなく相談して欲しい。現在労組未加入者の方々も遠慮なく相談して欲しい。

J R連合8万5千人は、この勇気ある
決断に敬意を表し、加入を心より歓迎します

第20回統一地方選挙 新人含む16人の組織内候補が当選

第20回統一地方選挙には、J R連合地方議員団連絡会に所属する15人の現職議員、新人2人の合計17人がJ R連合の組織内候補として立候補し、うち16人が当選した。前半戦である4月9日の都道府県・政令市議会議員選挙には、10人の現職議員、1人の新人が立候補し、うち10人が当選した。後半戦である4月23日の市区町村議会議員選挙には5人の現職議員、1人の新人が立候補し、6人全員が当選となった。

今国会でも議論がなされた持続可能な地域公共交通の実現に向けては、地域発の取り組みが不可欠であり、引き続きこれら地方議員との連携強化を図っていく。

4月9日の前半戦には、J R北労組推薦で2人、J R東海ユニオン推薦で2人、J R西労組推薦で5人、J R四国労組推薦で2人の合計11人が立候補した。現職の組合員である梶原英樹京都府議と柿本忠則広島県議は2期目の挑戦となった。また、J R西労組は、家族が同労組組合員である坪田晋氏を組織内候補として擁立した。このうち、菅原和忠北海道議・佐野愛子静岡県議・河合洋介愛知県議・柿本広島県議は無投票当選、7人が9日間の選挙戦を戦い、6人が当選した。

4月23日の後半戦には、J R北労組推薦で1人、J R東海ユニオン推薦で1人、J R九州労組で4人の合計



菅原和忠北海道議会議員



河合洋介愛知県議会議員

今次選挙についても、関係単組役員・組合員の多大なる貢献があったことは言うまでもなく、J R連合として改めて感謝を申し上げている。政策実現に向けてはこうした地道な政治活動を欠くことはできず、引き続き日頃からの取り組みを要請する。今次通常国会では、一部で維持することが難しくなっている地域公共交通のあるべき姿を国も関わる形で議論のうえ、再構築を可能とする枠組みを設けた「地域公共交通活性化再生法」改正法が成立した。地域公共交通のあるべき姿は地域毎で千差万別であり、その地域に合ったものを創るための丁寧な議論が必要である。そうした議論を行うためには、専門的知見を持つ人財のイニシアチブが不可欠であり、J R連合と連携を図る地方議員の存在は不可欠と言える。こうした認識のもと、関係地方議員との連携強化を図るとともに、組織内候補の発掘にも引き続き積極的に取り組んでいく。



梶原英樹京都府議会議員



柿本忠則広島県議会議員

2023統一地方選挙結果

〈4月9日投票〉

議会名	結果	氏名	所属	当選回数	推薦
北海道	当選	菅原 和忠	立民	3	J R北労組
札幌市	当選	藤原 広昭	立民	8	
静岡県	当選	佐野 愛子	無所属	6	
愛知県	当選	河合 洋介	立民	4	J R東海ユニオン
京都府	当選	梶原 英樹	国民	2	J R西労組
奈良県	惜敗	田尻 匠	立民	-	
広島県	当選	柿本 忠則	無所属	2	
山口県	当選	酒本 哲也	無所属	2	
福岡県	当選	坪田 晋	立民	1	J R四国労組
香川県	当選	山本 悟史	国民	4	
高知県	当選	橋本 敏男	無所属	3	

〈4月23日投票〉

議会名	結果	氏名	所属	当選回数	推薦
池田町	当選	春井 良夫	無所属	5	J R北労組
杉並区	当選	宇田川祐治	都ファ	1	J R東海ユニオン
大牟田市	当選	松尾 哲也	立民	7	J R九州労組
田川市	当選	石松 和幸	社民	6	
糸田町	当選	松瀬 征行	社民	4	
人吉市	当選	宮崎 保	無所属	4	



J R北海道研修センター前でJ R連合・J R北労組をアピールする

J R連合は4月2日より複数回にわたり、J R北労組・加盟単組・青年女性委員会とともに、J R北海道の2023年度新入社員に対し、J R北労組を紹介するチラシを配布する等のアピール行動を展開した。今年度は新入社員がマホから簡単にH P等を見られるようにQRコードを貼り付け

J R連合・J R北労組・加盟単組・青年委 J R北海道の新入社員へ アピール行動

J R連合は4月2日より複数回にわたり、J R北労組・加盟単組・青年女性委員会とともに、J R北海道の2023年度新入社員に対し、J R北労組を紹介するチラシを配布する等のアピール行動を展開した。今年度は新入社員がマホから簡単にH P等を見られるようにQRコードを貼り付け

と記載したチラシを配布する等の妨害を行った。労組加入は強制ではなく、加入期限もない。本取り組みは労働組合活動の一環であるため、私たちはJ R北海道の研修センター前(敷地外)で取り組みを展開したが、J R北海道労組役員らは研修センター内に入り口を封鎖するなどの確認されている。また聞くところによれば、同労組は新入社員に対し、加入届の提出期限を決めてかなり高圧的に加入を迫っている。労働組合への加入は自由意思に基づくものであり、強制され、加入期限を区切られるものではない。J R連合は、J R北労組をはじめ全国の仲間と連携し、自由で民主的な組合活動を引き続き展開していくこととする。



坪田晋福岡県議会議員



松尾哲也大牟田市議会議員



山本悟史香川県議会議員



宇田川祐治杉並区議会議員

地域公共交通活性化再生法・改正法案 関係議員の質疑を経て成立

3月24日に衆議院で可決された地域公共交通活性化再生法（以下、地活法）の改正法案は、参議院では4月12日から審議が開かれ、同21日の本会議で可決・成立した。参議院の審議においても、JR連合「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所属議員が多数質疑に立ち、私たちの意見・要望を反映する形で活発な議論を行った。

また、衆議院・国土交通委員会における参考人質疑では、交通政策の権威である宇都宮淳一関西大学経済学部教授が招聘される一方、参議院・国交委では、富山市において鉄道を軸とするまちづくりを行った前富山市長・森雅志氏が招聘された。両氏はJR連合「結成30周年記念シンポジウム」において講演・パネルディスカッションを行った専門家で、JR連合の政策提言も一定の助言を与えている。参議院の審議では、衆参の国交委に属する国会議員の推薦によつて行われる。JR連合はそうした政策提言を用いて関係議員への説明を実施してきており、今回両氏が



三上えり参議院議員



森屋隆参議院議員

言及したほか、「従来通りの予算、法律では地域の課題に十分対応することが困難な状況にある」ため、社会資本整備総合交付金等の財政支援強化を図った旨明らかにした。

国土交通省鉄道局への要請・意見交換 「交通重点政策2023・2024」の 政策実現に向けて

同18日の国交委参考人質疑において森前富山市長は、「交通は単体での採算性を求められ、右肩上がりの時代にはそれが奇跡的に成立したが、今は人口減少等で成立しない」旨指摘した。これに対し三上議員も、「道路関係予算偏重から、地域の移動手段を守るといふバランスを考慮した予算への転換を図るべきだ」と指摘した。

JR連合は4月20日、国土交通省鉄道局に対する要請行動および意見交換を実施した。今回の要請行動は産業政策委員会メンバーを中心に参加。「交通重点政策2023・2024」に掲げた主要課題について各単組の実態を踏まえた主張を行い、鉄道局の実務担当者との活発な意見交換を行った。



要請文書を土田室長に手交する上村委員長

今後法施行を見据えた事業者や自治体の動きが活発化すると見られる。引き続き関係議員との連携を図り、持続可能な地域公共交通の実現に努めていく。

第81回JR連合国会議員懇談会 地域公共交通・高速鉄道に係る 取り組みについて意思統一

JR連合は3月29日、第81回国会議員懇談会を開催した。所属議員・議員秘書およびJR各単組の代表者が出席した。

代表として榛葉賀津也議員、懇会長は、鉄道のご利用が一定程度回復している現状に言及のうえ、今春春季生活闘争への労いの言葉を述べた。

また、「マスク着用を巡っては、現場に混乱を来たしかねない状況下にあると聞く。現場の声を受けた政策活動に取り組みが必要がある」と挨拶した。

続いて萩山市明会長が挨拶に立ち、「グループ企業も含めて見れば、まだ賃金水準が低いJR産業では、新幹線等の成長分野への投資が不可欠であることも強く訴えた。

伊藤孝忠幹事が委員会等で質疑に立ったことや、伴野副会長が関係議員の質問や附帯決議にJR連合の主張を反映すべく取り組んだことに対する謝意を伝えた。

さらに、高速鉄道ネットワークに係る提言策定に触れ、新幹線等の成長分野への投資が不可欠であることも強く訴えた。

当面する課題として、JR貨物については、2024年問題の解決策として貨物鉄道へのモーダルシフト促進が不可欠であり、今後提言の策定に取り組んでいくこと、また、北海道新幹線延伸に伴う並行在来線問題に際して鉄道貨物のネットワーク維持に向けた取り組みが必要であることを報告した。

と計画推進に係る政策提言「地域活性・発展の礎となる鉄道網の構築を目指して」について説明を行った。共同作成者である鉄構労の大野友和中央執行委員長は、「整備新幹線の工期が一方的に定められることは問題。北陸新幹線は3年の前倒しがおさなりに決まってしまう、組合員が身を削りながら苦勞した結果、なんとか2年前倒しができた。建設業の労働規制や物流の2024年問題、北海道新幹線の札幌延伸工事の工程にも影響することは必至だ」と危機感を伝えた。

JR連合は関係議員との緊密な連携のもと、引き続き丁寧かつ大胆に、各種課題解決に向けた取り組みを展開していく。

意見交換では、各単組代表より「災害からの復旧を含む持続可能な地域公共交通のあり方」「昨今の燃料費高騰などを反映させる柔軟な運賃・料金設定」「技術開発や省力化・省人化の推進」「貨物鉄道へのモーダルシフト」「高速鉄道・



説明に耳を傾ける国会議員懇談会三役と伊藤幹事

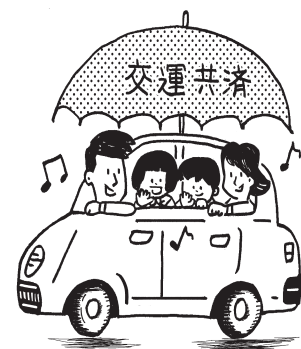
苦勞した結果、なんとか2年前倒しができた。建設業の労働規制や物流の2024年問題、北海道新幹線の札幌延伸工事の工程にも影響することは必至だ」と危機感を伝えた。

第33回定期大会開催告示

- 日時 2023年6月12日13時から13日12時まで
場所 「東武ホテルレバント東京」(東京都墨田区)
議題 (1) 2023年度運動方針案について
(2) 2022年度一般会計剰余金の処分案について
(3) 2023年度予算案について
(4) 役員・中央委員の選出について
(5) その他
出席範囲 (1) 大会構成員
JR連合三役・執行委員・特別執行委員・会計監査員・大会代議員・特別代議員
(2) 大会会場係
JR連合青年・女性委員会
その他 一般傍聴者については、大会会場の収容人員等の関係で別途連絡する

交運共済 ニュース

共済でひろがる、
安心できる毎日。



みんなで暮らしをガード
交運共済 (JR職域生協)
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

事務所 組合めぐり 43

ジェイアール・イーストユニオン (JR Eユニオン) 仙台地方本部 (宮城県仙台市)

ジェイアール・イーストユニオン仙台地方本部は、宮城・福島・山形の三県の組合員が所属し、東北の玄関口仙台市に事務所があります。2011年3月11日に発生した東日本大震災では、福島・宮城・岩手各県で津波による甚大な被害を受け、JR連合傘下各単組の皆さんをはじめ、日本国内や世界中から多大なるご支援を頂きました。改めて感謝申し上げます。

JR連合は東日本大震災復興支援の取り組みとして、公益財団法人オイスカと連携し「海岸林再生プロジェクト」に参画しています。仙台地本も独自に年2回、

また、昨年10月の会社組織の改正により、仙台支社・盛岡支社・秋田支社を統合し、新たに東北本部となりました。仙台地本は、会社施策と真剣に向き合い団体交渉をはじめ会社と真摯に議論し、より良い職場作りをめざした活動を実践しています。

仙台は桜がかわり、これからは新緑の季節となります。名物の牛たんや笹かま、そして、ずんだ(餅アイス、シェイク)を堪能するには絶好の季節です。仙台駅ナカの牛たん通り、すし通りは連日賑わっています。ぜひ「杜の都仙台」にお越しください。



オイスカの吉田さんからPJの説明